

病害虫防除技術情報第8号

令和7年8月14日
三重県病害虫防除所

ネギアザミウマの発生が多くなっています。
ほ場を観察して、初期防除に努めましょう。

- 1 対象作物：ネギ
- 2 対象病害虫名：ネギアザミウマ
- 3 発生状況と気象の状況

- (1) 7月第5週から8月第2週に実施した巡回調査では、青ネギにおけるネギアザミウマの被害葉率が22.5%（過去10年平均11.8%）、白ネギにおける被害葉率が73.7%（過去8年平均22.4%）と、平年と比べて高くなっています。（図1）また、本種が媒介するアイリス黄斑ウイルス（IYSV）によるえそ条斑病の発生が確認されました。（図2）

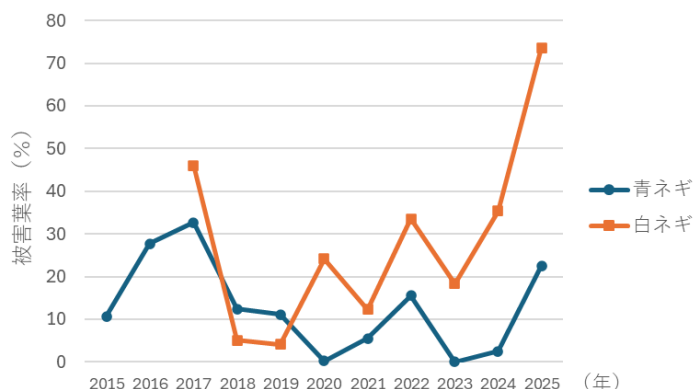


図1：アザミウマの被害葉率の推移（8月巡回） 図2：ネギに発生したえそ条斑病

- (2) 1か月予報（8月14日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、ネギアザミウマの発生に好適条件が続くと考えられます。

防除対策

- (1) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するためカスリ状になります。多発すると葉全体が白くなり、生育不良となることがあります。
(図3)

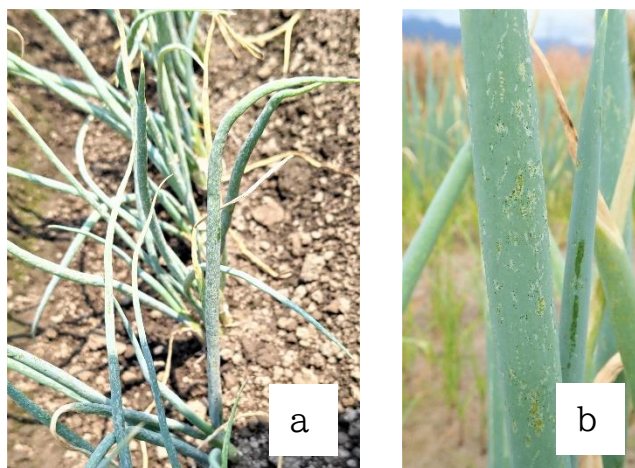


図3：a アザミウマの被害圃場、b アザミウマの被害痕

- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
(3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
(4) 防除薬剤は次のインターネットサイトで検索することができます。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie> (三重県農薬情報システム)

<https://pesticide.maff.go.jp/> (農林水産省の「農薬登録情報提供システム」)

農薬は必ずラベルの表示を確認し、使用方法を守って使いましょう。

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

